

西應寺の由来

今から1200年ほど前、この地一帯には、奈良興福寺の別院で「円満山少菩提寺」と呼ばれる数多くの大伽藍が、雄大な姿で建ち並んでいました。

これらの古刹は、信楽の都を發願し建立された聖武天皇が、国家の繁栄と安泰を祈念されたことを受け、良弁僧正によって創設されました。当時は、山上山麓の広域にわたって大食堂、三重の大塔、開山堂などを中心に、7つの神社と37の僧坊を構える偉容を誇っていたと伝えられています。しかし元龜2年(1571年)戦国乱世の兵火によって、金山はほとんど焼失し、今やそれらの礎石を残すのみとなりました。

このうちの禅祥坊が、西應寺の前身に当たります。明応元年(1492年)4月25日の記録が残る寺宝の古絵図には、盛時の状況が克明に描かれています。その後、永正17年(今から500年ほど前)禅祥坊は「西應寺」として再建がなされ今日にいたります。

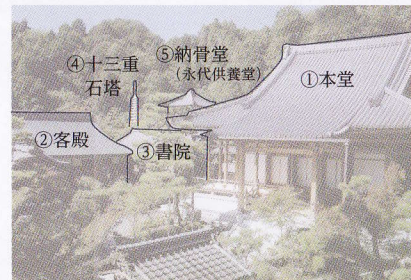
庭園について

西應寺の庭園は、山と樹林と空を背景として、大きい築山の間に枯滝・枯流れを設け、建物の前面から西の山裾にかけて細長い枯池をめぐらした、いわゆる枯山水の庭です。水を流せば谷川となり、やがて池となって湛えられるような写実的な表現をとっています。

多数の石組には、鈍穴流の手法が活かされています。枯滝石組や溪流に架けた上下ちがいの石橋、曲池西側の石橋、築山の飛石の分岐点に据えられた3石を寄せる踏分石などは独特のもので、形式の異なる大小様々の石燈籠や石擬宝珠柱なども、随所に配置されています。

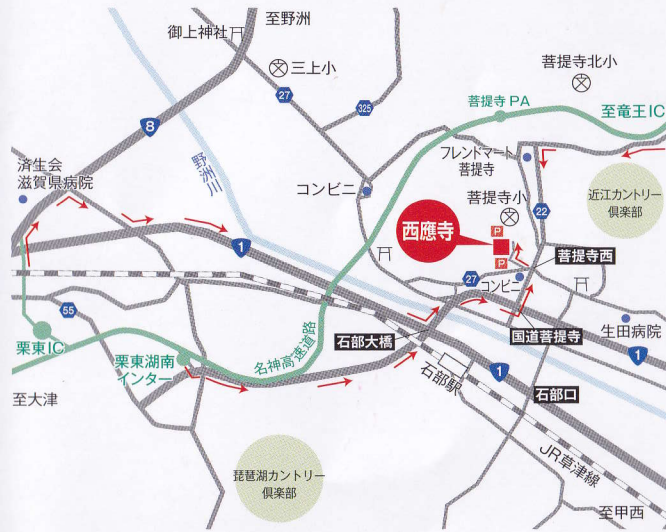
東の一段高い台地には楼が建立され、高さ33尺(約10m)もの巨大な十三重石塔が並び立つ姿はひととき目を引きまします。それに続く山裾にも、三尊石を中心とする石組や、降雨の際の排水を兼ねた枯流れが設けられています。

主庭のほかに、それぞれに趣向をこらした客殿・書院・庫裡をめぐる小空間なども、また深い味わいを持っています。



表紙写真解説

- ① 正面に仏さまが安置される本堂
 - ② ③ 左に客殿、その右横に書院
 - ④ ⑤ 奥に十三重の石塔、その右横に納骨堂(永代供養堂)
- ※ 客殿奥(山側)に庭園、十三重の石塔奥(山側)に墓地



- 名神栗東湖南インターより6分
- 名神龍王インターより10分
- 国道8号線より8分
- JR石部駅よりタクシーで10分
- JR野洲駅より25分(バス・北山台行)

墓苑および永代供養のお申込みを受付しております。
お気軽にご相談ください。

功德円満山 西應寺

滋賀県湖南市菩提寺1677 TEL.0748-74-1051
駐車場完備(40台収容可能)

近江ノ国

湖南市

西應寺



今、1200年の歴史がよみがえる。

来訪者を驚かせる庭園の巨石



私たちの命は、
目に見えるもの、見えないもの、
限りのない「いただきもの」の中に生きています。
そんな中でも仏様からの言葉がいただければ、
それが私の命の糧かてとなって、
無量寿という仏様のとわなる光の中に
照らし出されている私の姿をいただくことができます。

—— 住職のことば

年間
行事

正月	修正会
三月	永代経（春のお彼岸法要） 納骨堂（永代供養）法要 蓮如忌（蓮如上人ご命日法要）
七月	こども会
八月	暁天（早朝）講座 地藏盆 墓地供養法要
九月	永代経（秋のお彼岸法要）
十一月	報恩講（親鸞聖人御正忌法要）
毎月	毎月お講（親鸞聖人ご命日法要） 女性の集い

※仏事など、何でも随時お気軽にご相談ください。

五月の連休時、
境内に咲く満開の萩の花



当寺に保存されている文化財

- 紙本著色小菩提寺絵図（江戸時代）
- 木造阿弥陀如来立像（平安時代）



西心寺

「功德円満山－西心寺」

この地一帯には、もと奈良興福寺の別院で、円満山少菩提寺と呼ばれ、数多くの大伽藍が雄大な姿でそびえわたっていた。奈良時代、信楽の都を発願、建立された聖武天皇が、国家の繁栄と安泰を願い、良弁僧正が創設した古さつである。当時は、山上山麓の広域にわたって大金堂、三重の大塔、開山堂などを中心にして、7つの神社と36の僧坊を構えてその偉容を誇っていた。しかし、元龜2年（1571年）戦国乱世の世、織田信長の兵火によって全山は殆ど焼失し、それらの礎石を残すのみとなった。このうち禅祥坊が現存の西心寺の前身である。寺宝の明応元年（1492年）4月25日の記録のある古絵図には、盛時の状況が克明に描かれており、現在の山裾に禅祥坊があったことがうかがえる。

本庭園は山と樹林と空を背景として、大きい築山の間に枯滝・枯流れを設け、建物の前面から西の山裾にかけて細長い枯池をめぐるした、いわゆる枯山水の庭であるが、水を流せば谷川となり池に滯えられるような写実的な表現をとっている。多数の石組には鈍穴流の手法が生かされており、枯滝石組や溪流に架けた上下ちがいの石橋、曲池西側の石橋、築山の飛石の分岐点に据えられた3石を寄せた踏分石などは独特である。形式を異にし、大小高低様々な石燈籠や石擬宝珠柱などが置かれている。東の一段高い台地には楼が建立されて、高さ33尺（約10m）もの巨大な十三重石塔が並び立っているのが目を引く。それに続く山裾にも三尊石を中心とする石組や、降雨の折の排水を兼ねた枯流れが設けられている。主庭のほかに客殿・書院・庫裡をめぐる小空間にも、それぞれに趣向をこらした庭が見られる。



案内図



名神栗東インターより15分

名神竜王インターより8分

国道1・8号線より8分

JR石部駅より8分（タクシー）

JR野洲駅より25分（バス・北山台団地行）
（北山台西口下車）

※夜間の拝観については予約して下さい。

功德円満山 **西心寺**

滋賀県甲賀郡甲西町菩提寺 TEL.0748-74-1051



廃少菩提寺跡

今、1200年の歴史がよみがえる。



「なぞの巨大庭園石」
訪れる旅人の心を驚嘆させる



当寺に保存されている文化財

紙本著色小菩提寺絵図
(江戸時代)

木造阿弥陀如来立像
(平安時代)



静かな山あいに咲く
一字の坊舎
法話を請て
訪れる旅のよろこび

